

(3) 学校質問紙

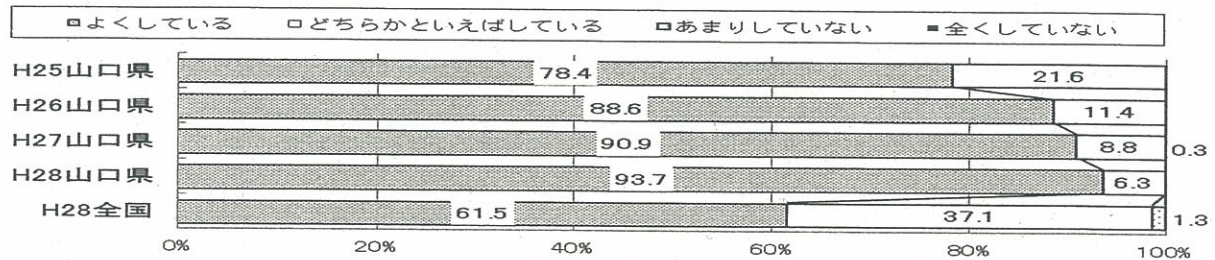
① 研修体制

ア 学校全体の学力傾向や課題を全教職員で共有

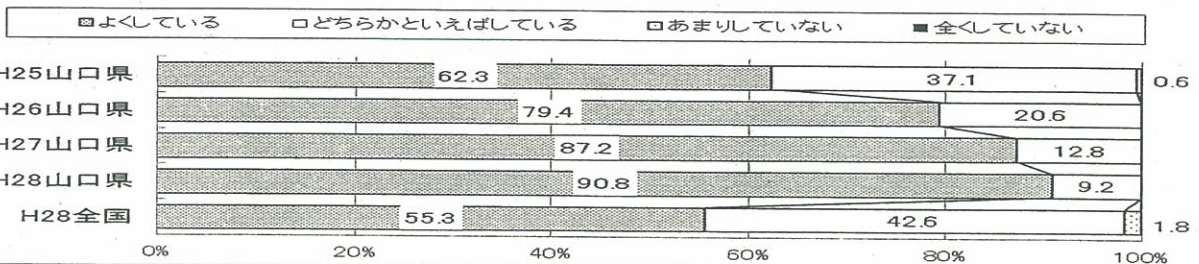
○ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間でよく共有している学校の割合は増加しており、全国に比べても高い。

☞ 今後も、学力向上に関する学校の組織的な取組が継続的に行われることが必要である。

【小学校】 114 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している



【中学校】 112 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している

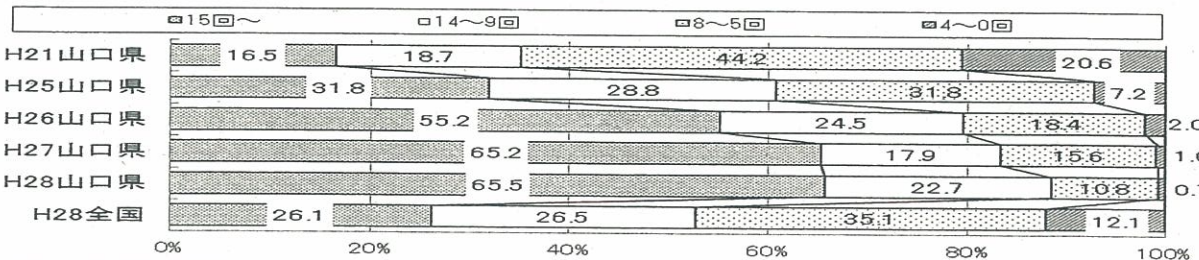


イ 授業研究を伴う校内研修の実施回数

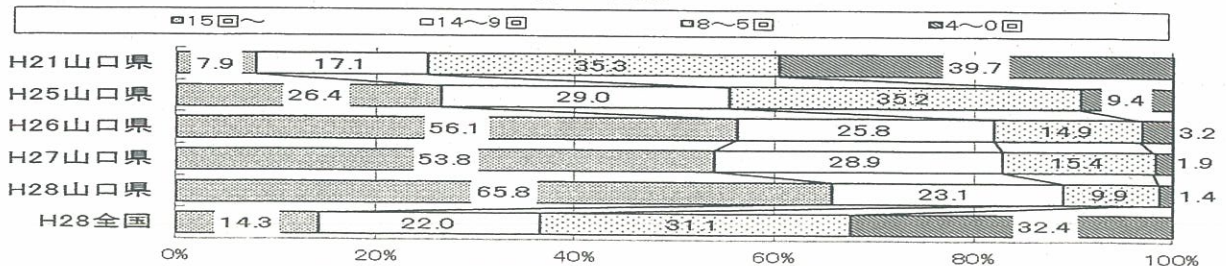
○ 授業研究を伴う校内研修の年間実施回数は、全国に比べて多く、調査開始当初と比較すると大きく増加している。

☞ 今後も、学力向上推進リーダー・推進教員を効果的に活用したり、互見授業やユニット型研修を積極的に実施したりするなど、校内研修が活性化され、日常的な授業改善が図られることが必要である。

【小学校】 109 授業研究を伴う校内研修の回数



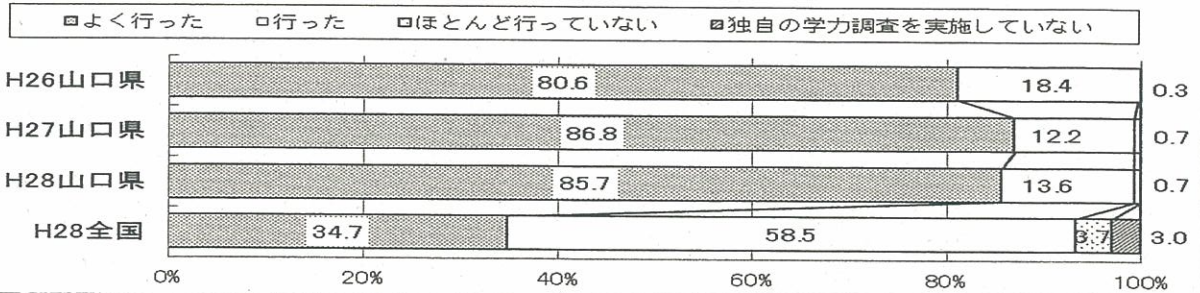
【中学校】 107 授業研究を伴う校内研修の回数



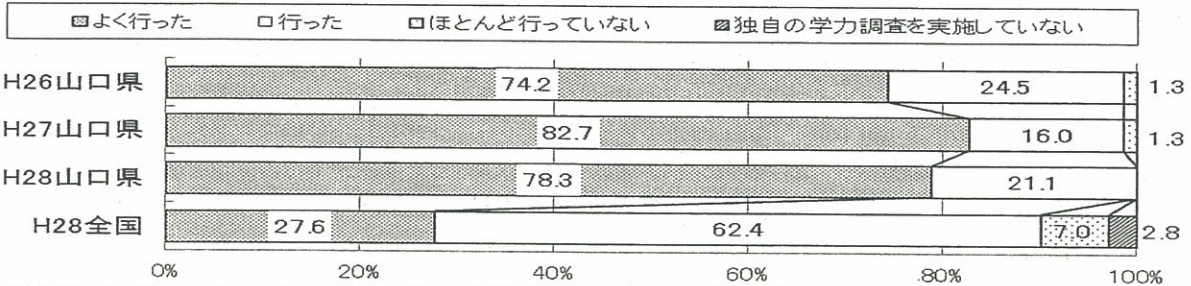
ウ 全国調査と県調査を併せて分析し指導の改善に反映

- 全国学力・学習状況調査と山口県学力定着状況確認問題の結果を併せて分析し、指導の改善や指導計画への反映を行った学校の割合は、全国に比べても高い。
- ☞ 肯定的に回答した学校の方が、教科の平均正答率が高い傾向があり、今後も年2回の検証改善サイクルを活用しながら取組の一層の充実を図っていく必要がある。

【小学校】 63 全国学力・学習状況調査の結果を県独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



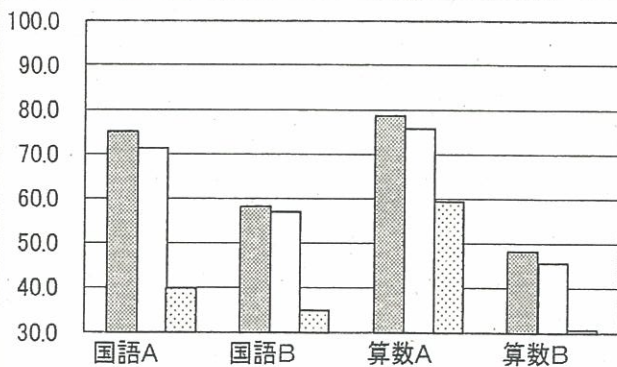
【中学校】 63 全国学力・学習状況調査の結果を県独自の学力調査の結果と合わせて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



[教科の正答率との関係]

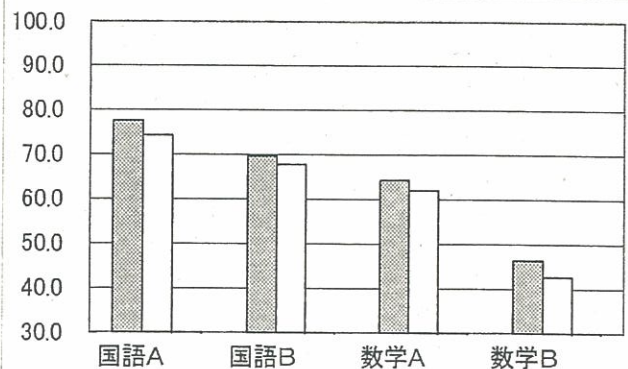
【小学校】 学力調査の結果を独自の調査と合わせて分析し、指導の改善を行ったか

よく行った どちらかといえば、行った ほとんど行っていない



【中学校】 学力調査の結果を独自の調査と合わせて分析し、指導の改善を行ったか

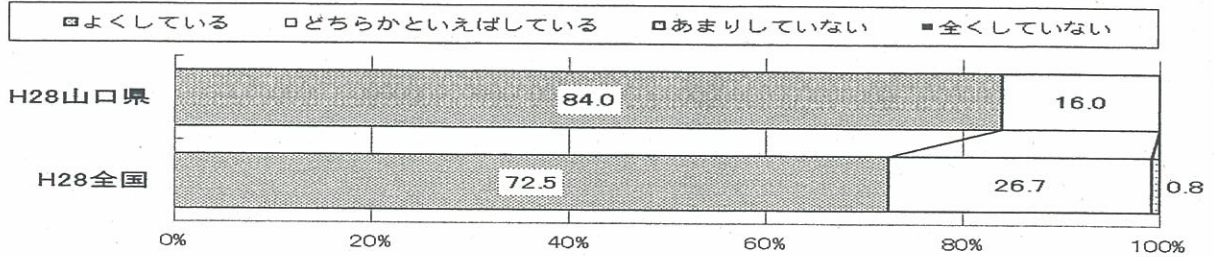
よく行った どちらかといえば、行った ほとんど行っていない



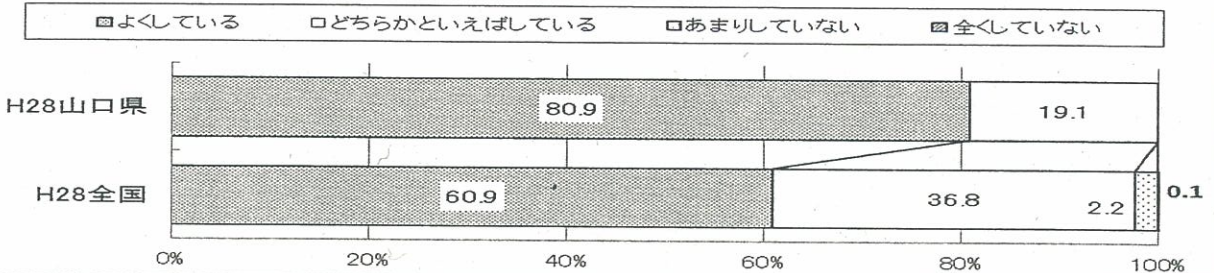
エ 校長のリーダーシップのもと組織的・継続的な研修

- 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を、全ての学校が行っている。
- ☞ 今後も校長のリーダーシップのもと、研修の中核となる教員を中心に、日常的な校内研修体制を確立していくことが重要である。

【小学校】 101 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行っている



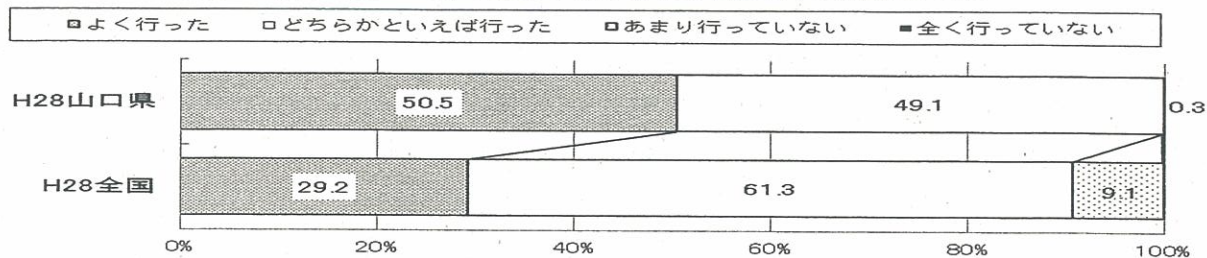
【中学校】 99 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、組織的、継続的な研修を行っている



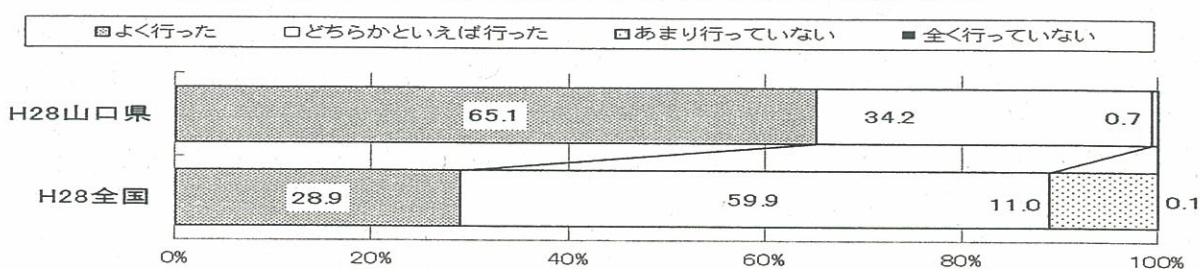
オ 子ども同士が考え話し合う道德の時間

- 道德の時間において、児童生徒自らが考え、話し合う指導を行った学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も道德科の目標と特質を踏まえ、児童生徒が自分の考えをもとに表現・交流する場の設定を工夫していく必要がある。

【小学校】 50 道德の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をした

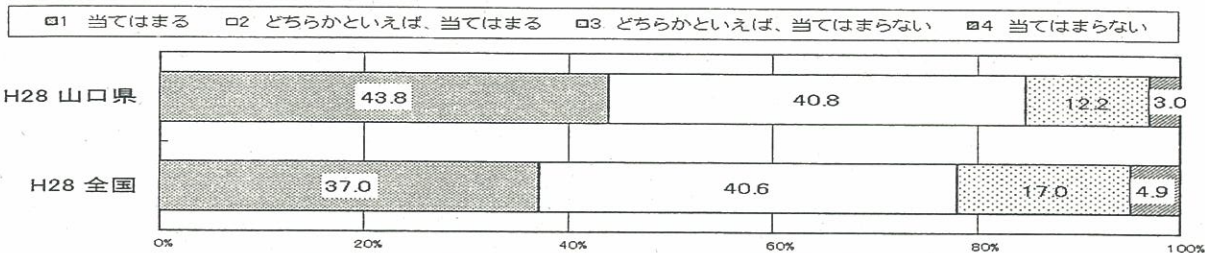


【中学校】 50 道德の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をした

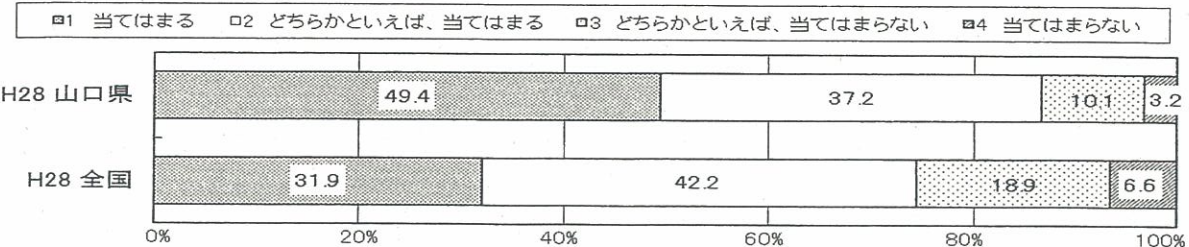


[児童生徒質問紙との関係]

【小学校】 (56) 道德の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う



【中学校】 (56) 道德の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う

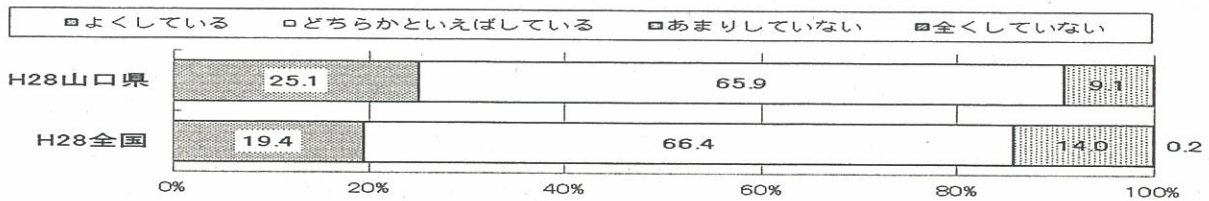


② カリキュラム・マネジメント

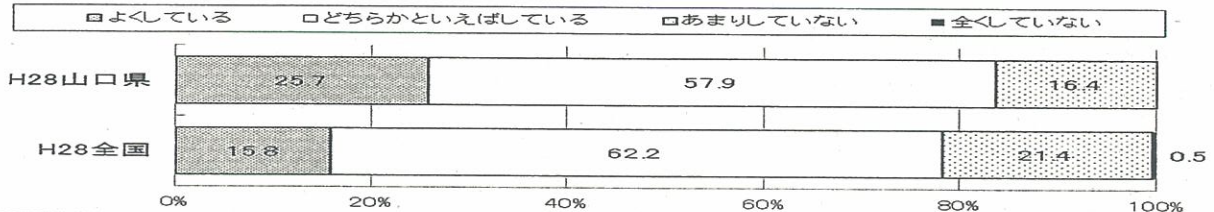
ア 各教科等の内容を、横断的な視点で、組織的に配列した指導計画

- 指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も、校長を中心に、全教職員が「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解し、日々の授業等についても教育課程全体の中での位置付けを意識しながら取り組むことが必要である。

【小学校】 30 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



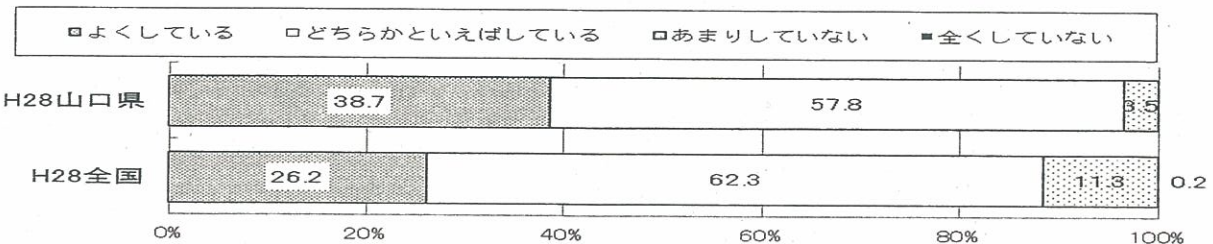
【中学校】 30 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



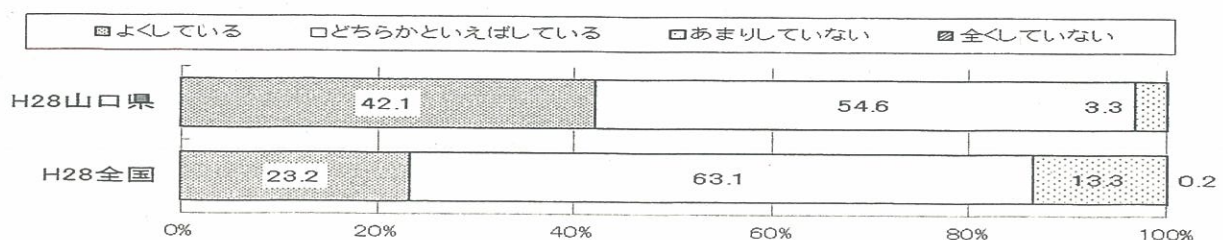
イ 子どもの姿や地域に関するデータに基づいたPDCAサイクルの確立

- 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も、校長を中心に、全教職員が、学習指導要領等の趣旨や枠組みを生かしながら、児童生徒の姿や地域の実状等と指導内容を見比べ、関連付けながら、効果的な年間指導計画等の在り方について、校内研修等を通じて研究を重ねるとともに、改善を図るPDCAサイクルを充実させていくことが必要である。

【小学校】 33 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



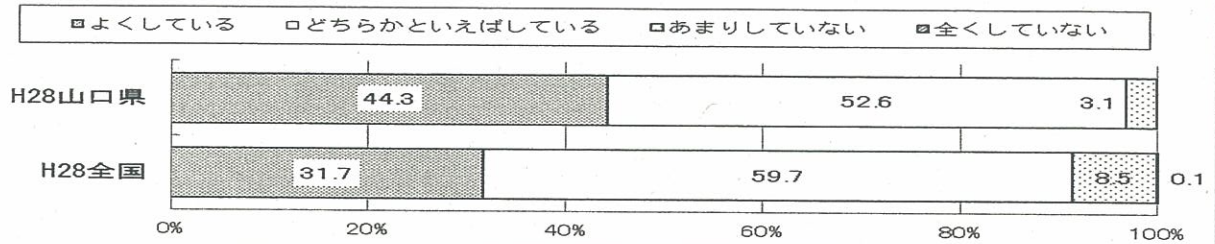
【中学校】 33 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



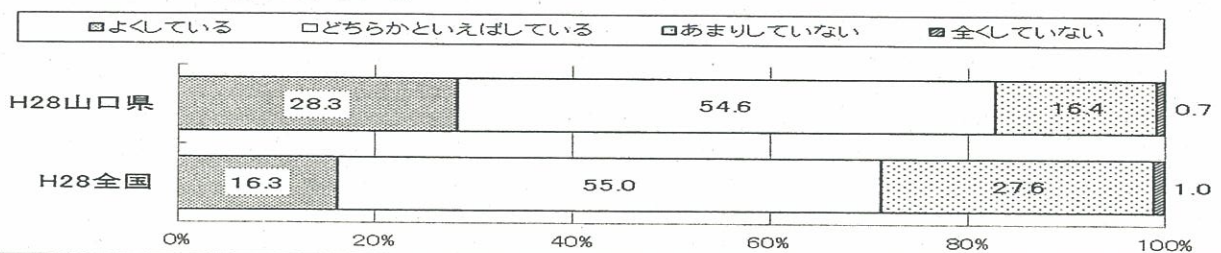
ウ 地域等の外部資源を含めた人的・物的資源を活用して指導計画を作成

- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 肯定的な回答をしている学校の方が、全ての教科の平均正答率が高いことから、教科等の内容を相互の関連や横断的な視点で配列し、コミュニティ・スクールの仕組み等を活用しながら、地域人材等の外部資源を効果的に組み合わせる「カリキュラム・マネジメント」が求められる。

【小学校】 34 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

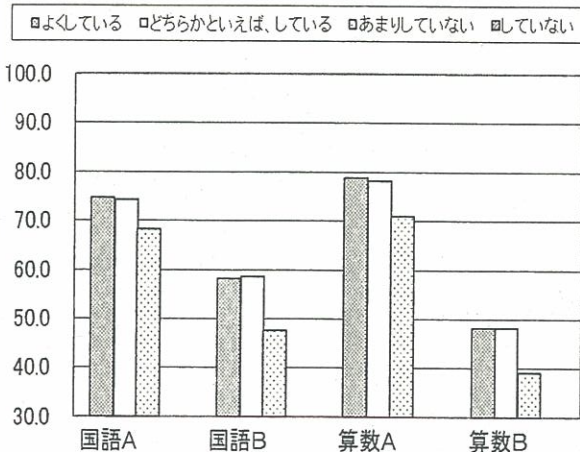


【中学校】 34 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

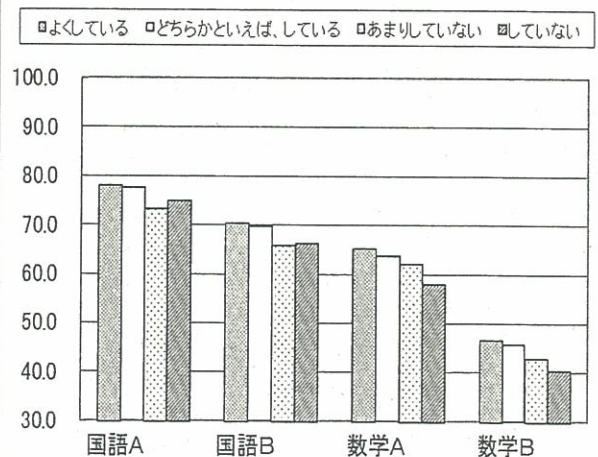


[教科の正答率との関係]

【小学校】指導計画の作成にあたっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせている



【中学校】指導計画の作成にあたっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせている



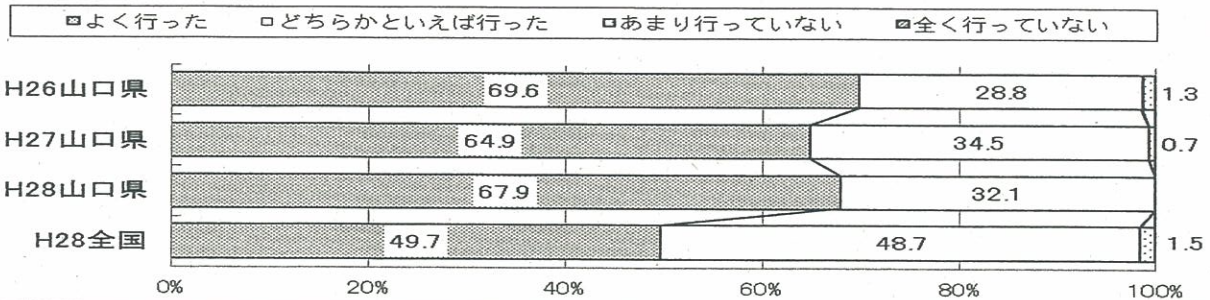
③ 学習評価

ア 積極的な評価の実施

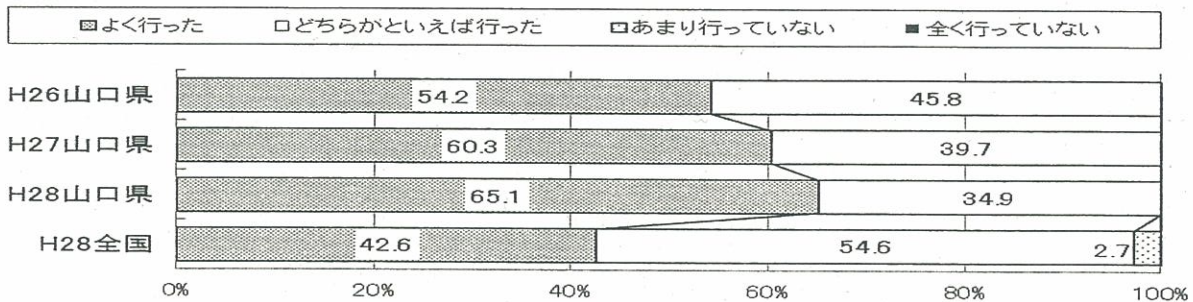
○ 学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価したと全ての小・中学校が肯定的に回答した。また、「先生が良いところを認めてくれる」と思う児童生徒の割合も、全国に比べて高く、平成26年度よりも増えている。

☞ 今後も、学校生活の様々な場面で、児童生徒に具体的かつ肯定的な評価を行っていく必要がある。

【小学校】 53 学校生活の中で、児童一人ひとりのよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価した

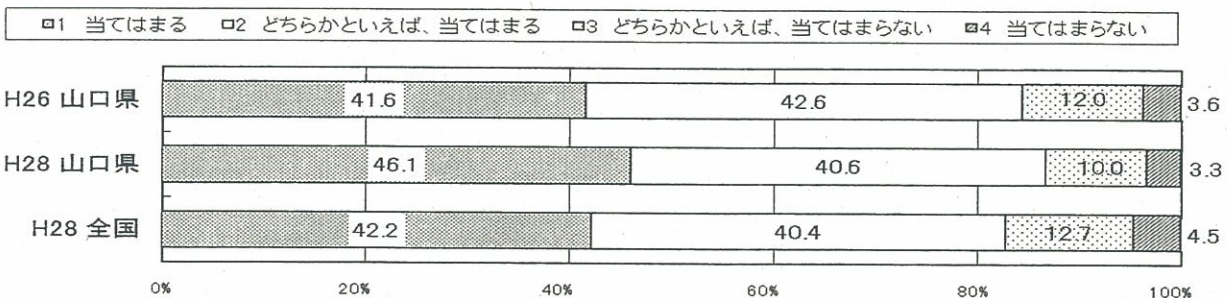


【中学校】 53 学校生活の中で、生徒一人ひとりのよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価した

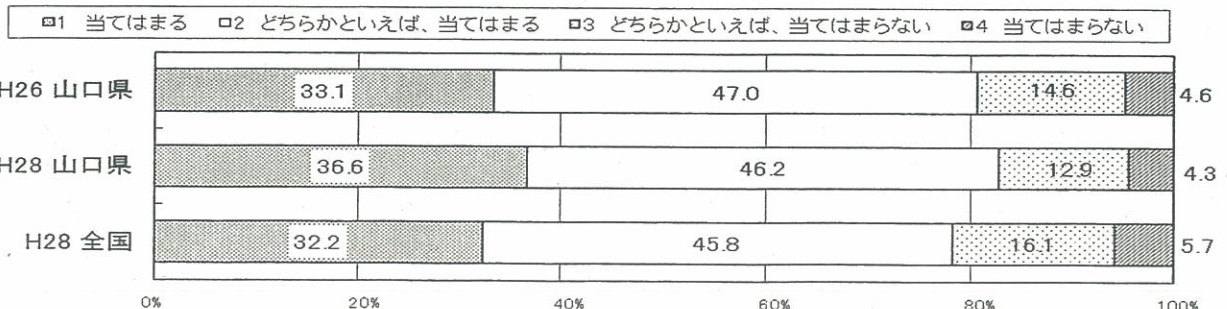


[児童生徒質問紙との関係]

【小学校】 (32) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う

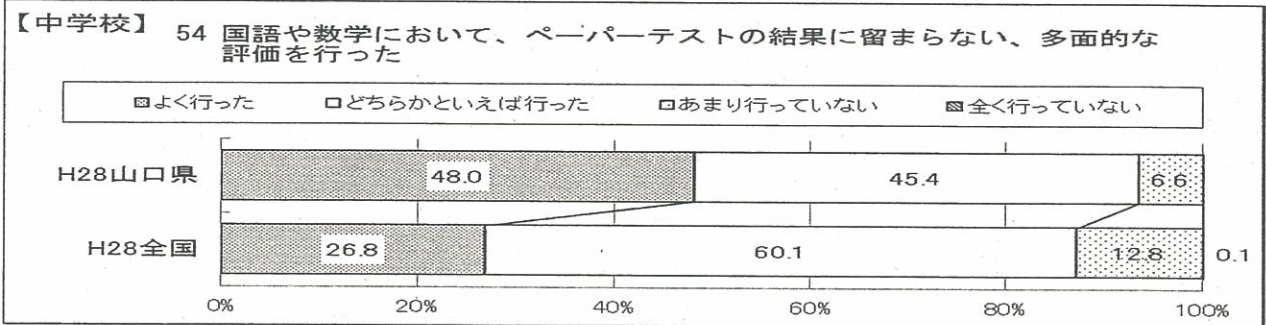
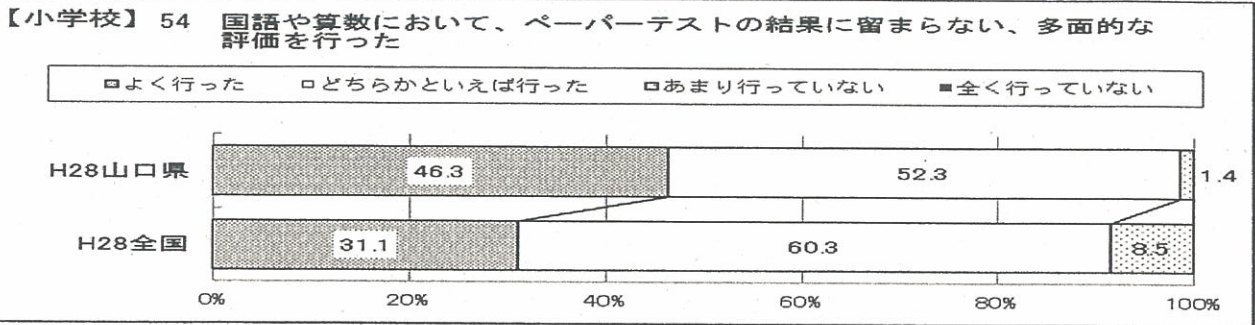


【中学校】 (32) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



イ 多面的な評価の実施

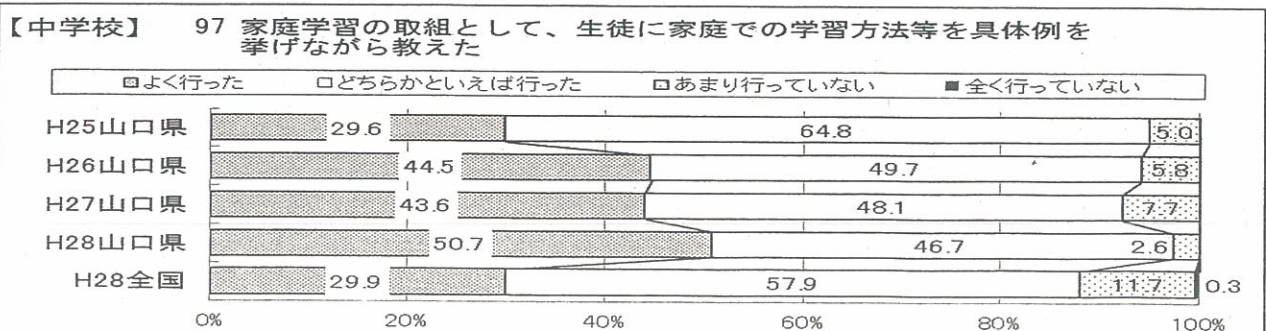
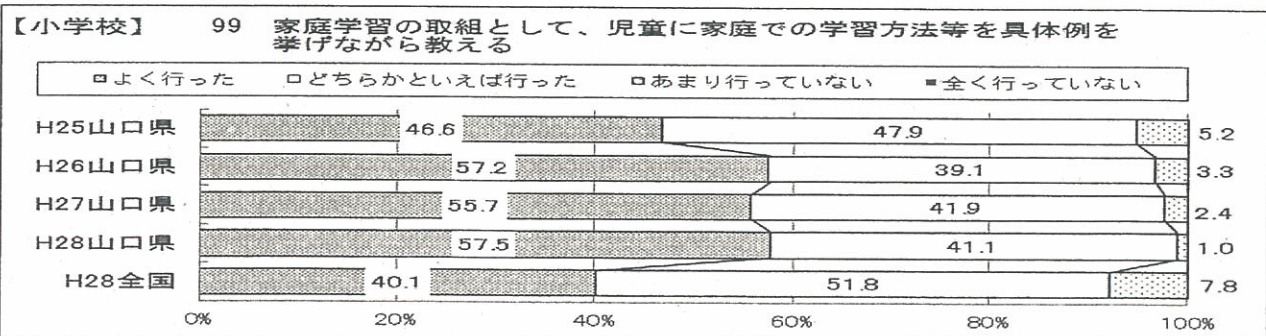
- 国語や算数・数学において、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行った学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も、「基本的な知識・技能」「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の学力の3要素を基盤として、明確な評価規準を定めるとともに、多面的な評価を実施することが必要である。



④ 自主学習の充実

ア 家庭での学習方法等を、具体例を挙げながら教えた

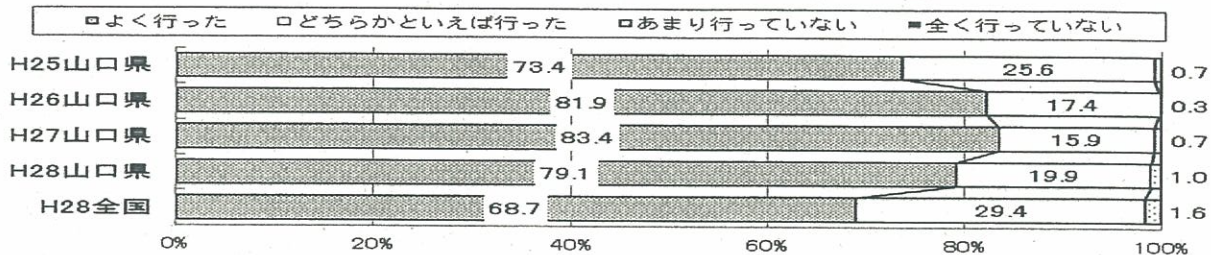
- 家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も、家庭学習習慣の確立のため、家庭での学習についての具体を説明する場や時間を設けるとともに、家庭と積極的な情報共有を行い、連携を図っていく必要がある。



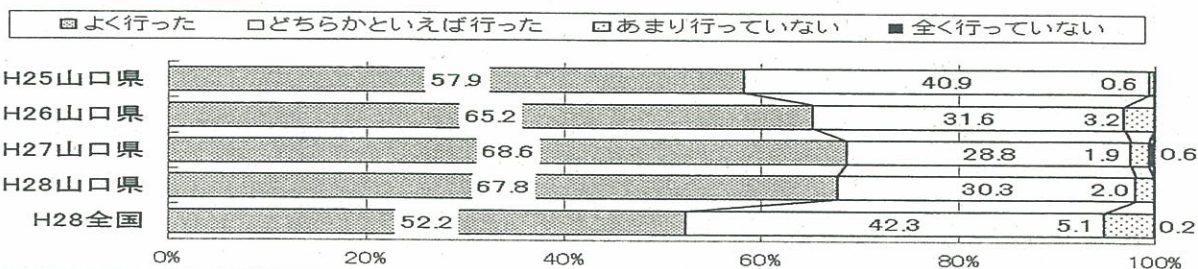
イ 国語の家庭学習についての評価・指導

- 児童生徒に与えた国語の家庭学習についての評価・指導を行った学校の割合は、全国に比べて高いが、「よく行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より減少している。
- ☞引き続き、国語の授業と関連付けながら家庭学習を与える等、家庭学習を効果的に実施する工夫を図る必要がある。また、提出された家庭学習を適切に評価したり、分かるまで丁寧に指導をしたりするなど、児童生徒が意欲的に家庭学習を行えるような工夫を図る必要がある。

【小学校】 93 児童に与えた国語の家庭学習についての評価・指導



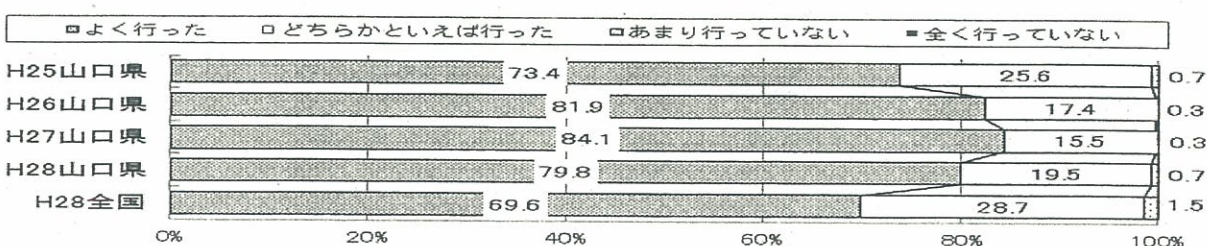
【中学校】 91 生徒に与えた国語の家庭学習についての評価・指導



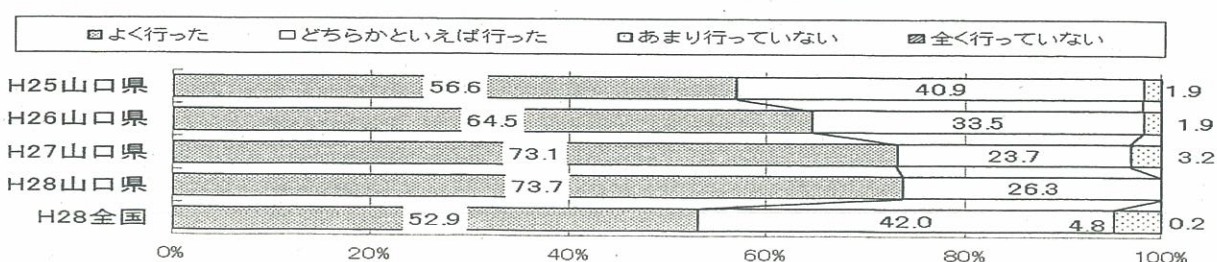
ウ 算数・数学の家庭学習についての評価・指導

- 児童生徒に与えた算数・数学の家庭学習についての評価・指導を行った学校の割合は、全国に比べて高いものの、小学校では「よく行った」と回答する学校の割合が減少している。
- ☞引き続き、算数・数学の授業と関連付けながら家庭学習を与える等、家庭学習を効果的に実施する工夫を図る必要がある。また、提出された家庭学習を適切に評価したり、分かるまで丁寧に指導をしたりするなど、児童生徒が意欲的に家庭学習を行えるような工夫を図る必要がある。

【小学校】 95 児童に与えた算数の家庭学習についての評価・指導



【中学校】 93 生徒に与えた数学の家庭学習についての評価・指導

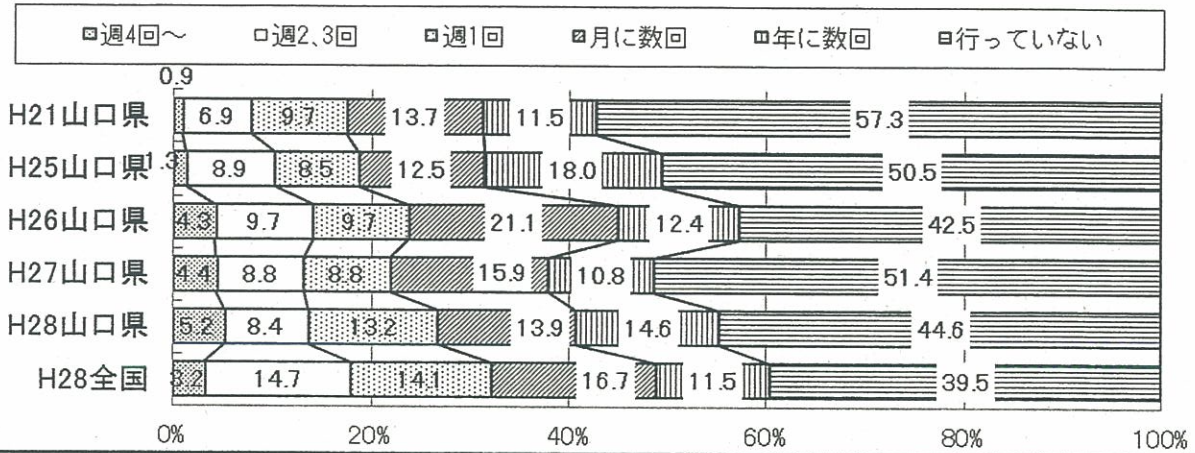


⑤ 補充学習

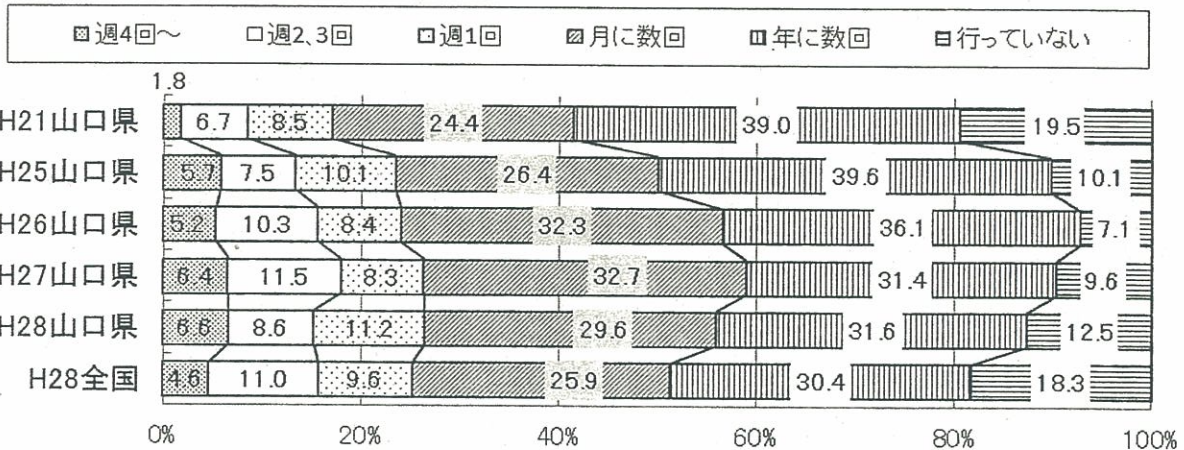
ア 放課後の補充学習の実施

- 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施していない小学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 放課後に限らず、各学校の実情に応じて、朝や休み時間等も利用しながら、児童生徒の学力状況に応じた補充学習の充実を図っていく必要がある。

【小学校】 25 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した



【中学校】 25 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施した



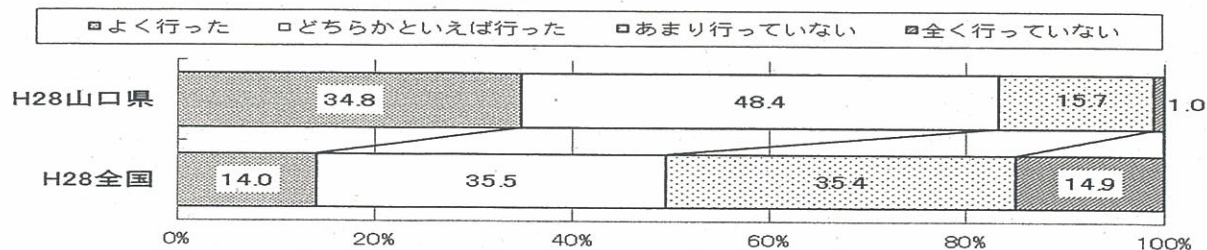
⑥ 小中連携

ア 全国学力・学習状況調査の結果の共有

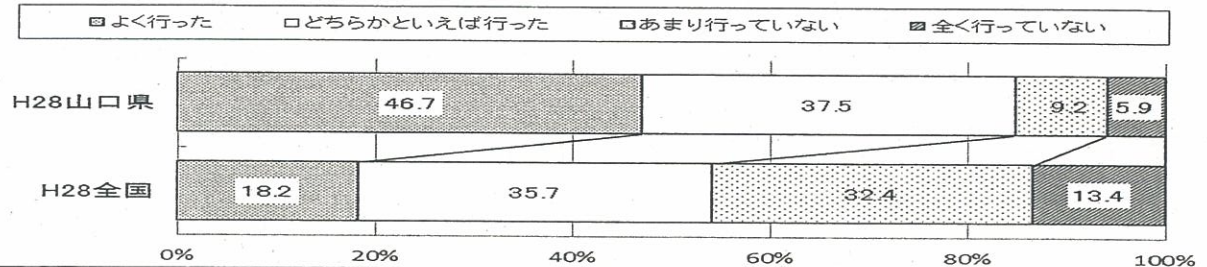
○ 全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題を共有した学校の割合は、全国に比べて高い。

☞ 今後も、各中学校区で、児童生徒の学力状況について具体的な情報を共有することで、小・中学校のつながりを意識し、9年間で児童生徒を育てていく体制を充実させる必要がある。

【小学校】 83 全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した



【中学校】 82 全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有した

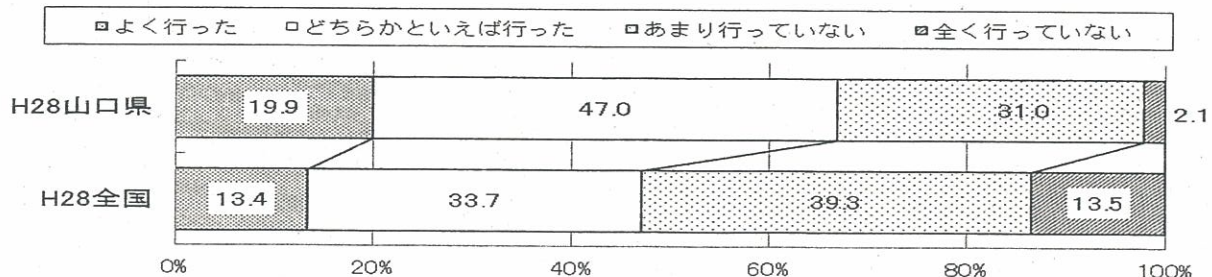


イ 教育課程に関する共通の取組の実施

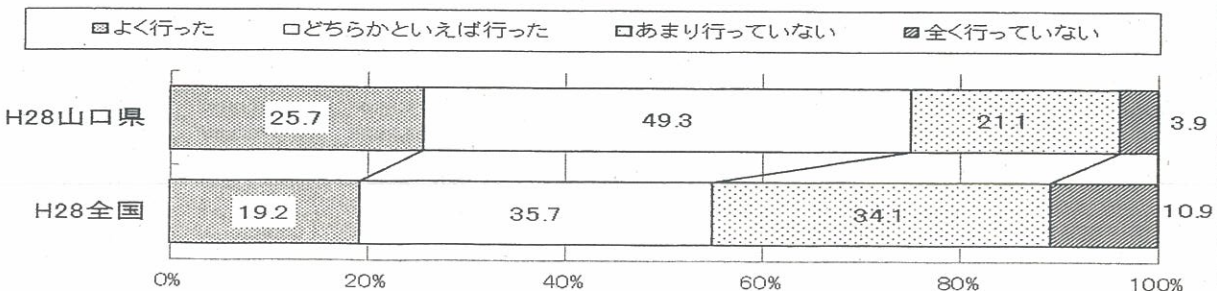
○ 近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合は、全国に比べて高い。

☞ 今後も、小中合同研修会の場を活用し、小中連携カリキュラムを作成・修正する等により、小・中学校で育てたい子ども像を共有し、学習内容のつながりを意識した取組を図る必要がある。

【小学校】 82 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った



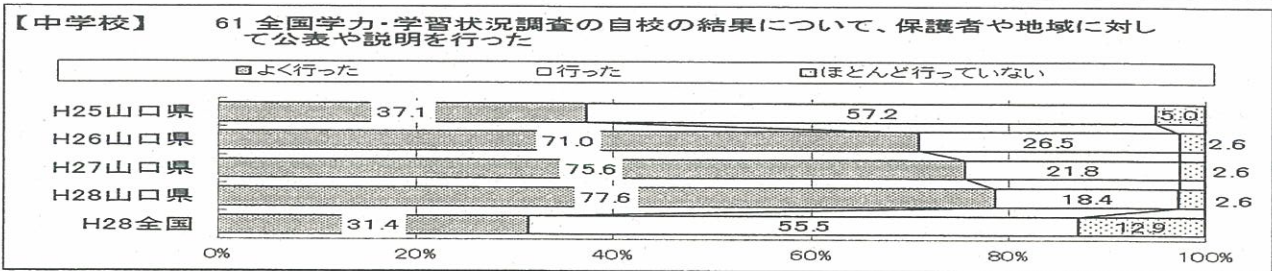
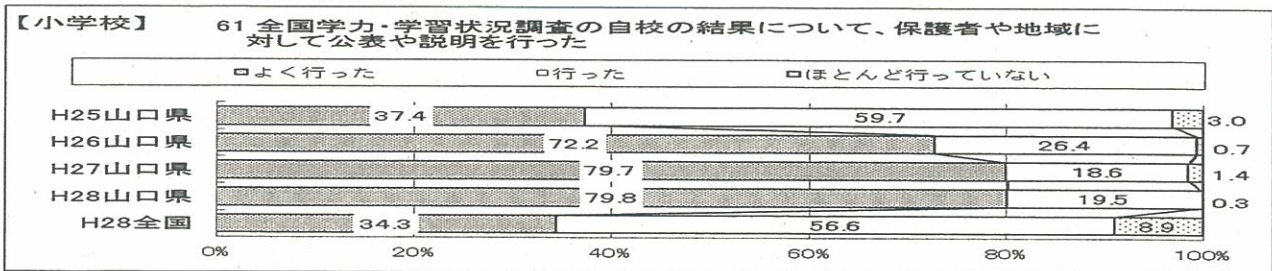
【中学校】 81 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った



⑦ 地域との連携

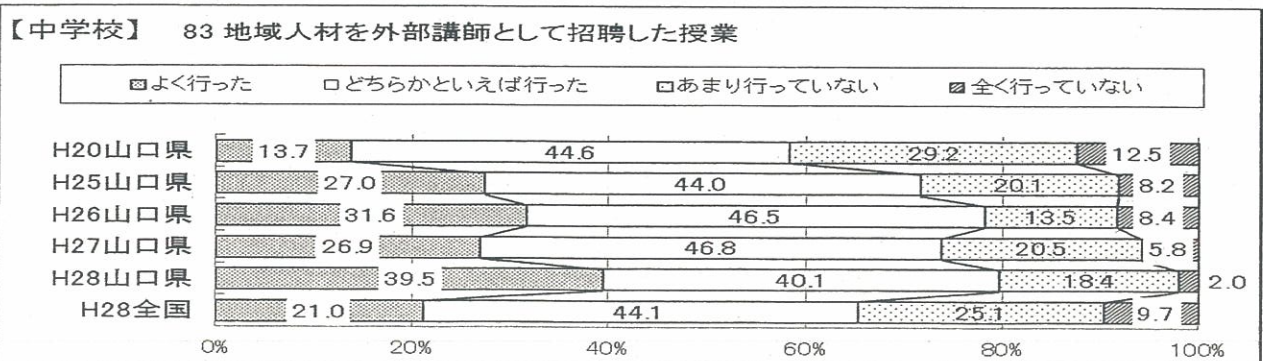
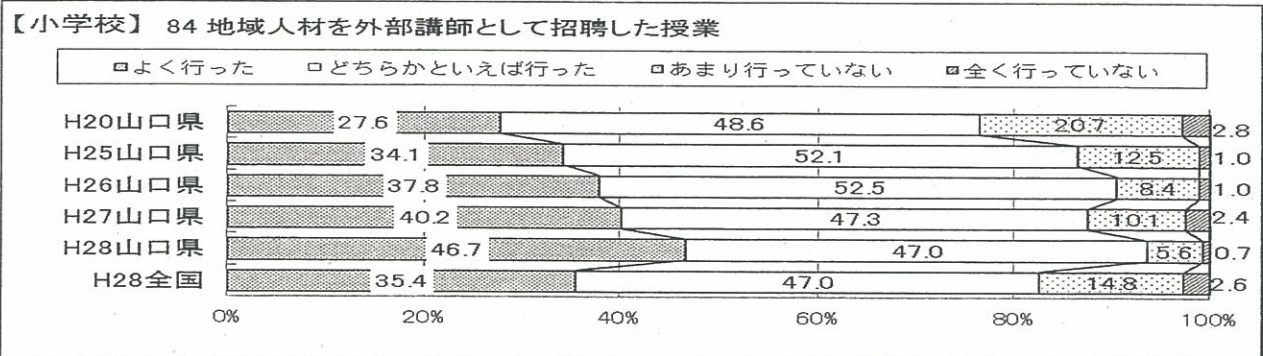
ア 全国調査の結果を公表

- 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域に対して公表や説明を行った学校の割合は、全国に比べて高い。
- ☞ 今後も、コミュニティ・スクールの仕組みを活用する等により、子どもたちの学力状況を保護者や地域と共通理解し、成果と課題を踏まえた上で、学校教育を通じて育む資質・能力について、認識を共有する必要がある。



イ 地域人材を外部講師として招聘した授業の実施

- 地域人材を外部講師として招聘した授業を実施した学校の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ キャリア教育の視点からも、今後もコミュニティ・スクールの仕組みを活用する等により、様々な分野における地域人材の発掘と効果的な活用を図っていく必要がある。

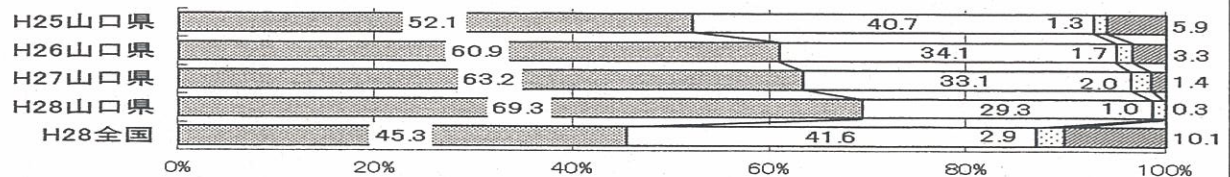


ウ 学校支援ボランティアの仕組みによる教育活動への参加

- 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれると答えた学校の割合は、全国に比べて高く、小・中学校ともに年々増加している。
- ☞ 保護者や地域の人々の学校への参画意識が高まっている。今後も、コミュニティ・スクールの仕組みを活用する等により、学校と保護者、地域の連携・協働を進めていく必要がある。

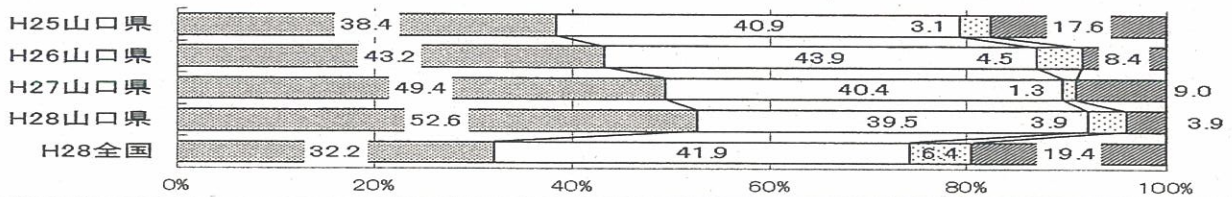
【小学校】 90 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれる

□よく参加してくれる □参加してくれる □あまり参加してくれない □学校支援ボランティアの仕組みがない



【中学校】 88 学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれる

□よく参加してくれる □参加してくれる □あまり参加してくれない □学校支援ボランティアの仕組みがない

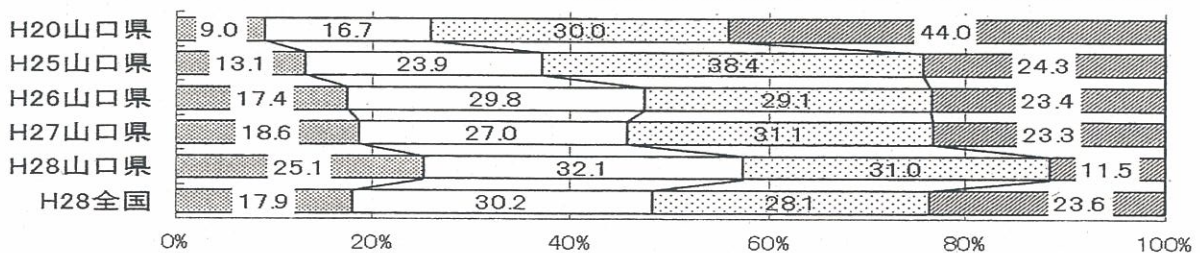


エ ボランティア等による授業サポート

- ボランティア等による授業サポート（補助）を行った学校の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ 今後も、コミュニティ・スクールの仕組みを活用する等により、保護者や地域の人々の参画意識を高める働きかけをするなど、地域人材の効果的な活用を図っていく必要がある。

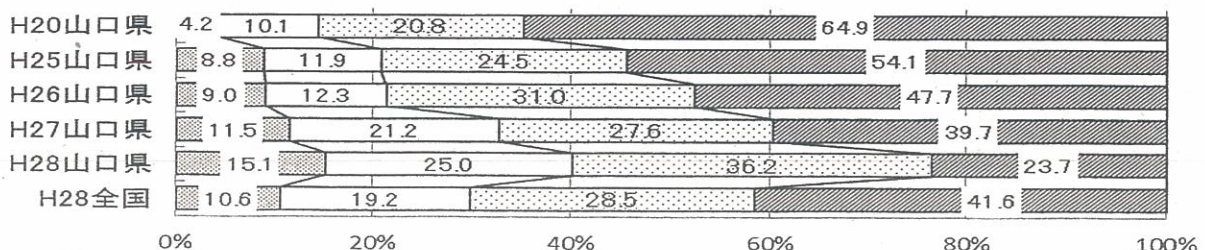
【小学校】 85 ボランティア等による授業サポート

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない



【中学校】 84 ボランティア等による授業サポート

□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない



学力向上に向けた今後の取組

各学校、市町教委、県教委の連携を一層強化するとともに、コミュニティ・スクール等の取組による、学校、家庭、地域の連携・協働を基盤とし、調査結果等から明らかとなった成果と課題を踏まえ、家庭や地域との連携・協働を基盤とした4つの重点取組事項を柱に、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着・向上に向けた取組に、引き続き全力で取り組む。

山口県学力向上
キャッチフレーズ

わかる喜び できる楽しさ 学び続けるやまぐちっ子
～高めよう授業力 育てよう学習力～

学 校

① 学校の組織的な取組

- 全国学力・学習状況調査、山口県学力状況確認問題を活用した年2回の検証改善サイクルに基づく取組の充実
 - ・学力分析支援ツールによるきめ細かな分析、成果と課題の共有
 - ・「学力向上支援資料」等、関連資料の活用
 - ・「学力向上プラン」の見直しと、課題解決に向けた全校体制での取組の充実 等
- コミュニティ・スクール等の仕組みを活用したユニット型研修や授業評価の積極的な実施

② 指導方法の工夫改善

- 日常的な授業改善の推進と授業力向上に向けた校内研修の活性化
 - ・「見通し」と「振り返り」、「板書型指導案」等に関する各種指導資料の活用
 - ・学力向上推進リーダー・推進教員等の効果的な活用
- 各種研修会への積極的な参加と、研修成果の共有・活用
- 「やまぐち学習支援プログラム」の効果的な活用

③ 学習環境の整備

- 学習規律（きまり、けじめ、規範意識）の確立・徹底
- 学びを促す学習環境づくり（掲示、ノート指導、教材教具の整備等）の推進
- 地域人材を活用した学習支援体制づくり
- 合同研修会や相互乗り入れ授業等、校種間の円滑な接続に向けた取組の充実

④ 学習習慣の確立

- 一人ひとりの課題に応じた補充学習の実施
 - ・「やまぐちっ子学習プリント」等の活用
- 児童生徒が計画的に家庭学習や自主学習を進めるための指導と評価の充実
- 家庭や地域との連携・協働に向けた積極的な情報発信
 - ・全国学力・学習状況調査と県学力定着状況確認問題の結果や取組方策について情報提供
 - ・学力分析支援ツール個人票を活用した家庭との児童生徒の学力状況の共有
 - ・学力向上をテーマとした熟議の実施と学習支援

家庭・地域

☆ 生活・学習習慣の確立

- 規則正しい生活リズムの定着
- 携帯電話・スマートフォンの利用、テレビの視聴、ゲーム等に関する家庭のルールづくり
- 計画を立てて、決めた時間・場所で勉強するなど、家庭学習の習慣化
- 「やまぐちっ子学習プリント」「みんなでチャレンジ学習プリント」の活用

☆ 学校との連携

- 子どもの学習の様子等についての積極的な相談や情報共有
- 授業参観や授業評価、懇談会等への積極的な参加
- 学力分析支援ツールの個人票をもとにした子どもの学力傾向の把握と家庭学習の充実
- コミュニティ・スクール等を生かした学習支援ボランティアなどへの積極的な参加

市町教委

① 学校の組織的な取組

- 年2回の検証改善サイクルを活用した取組の充実支援
 - ・学力分析支援ツールの活用によるきめ細かな分析と課題解決に向けた取組支援
- 各研究指定校の取組支援
- 県教委との合同研修会による施策や学校の取組等の共通理解と情報交換
- 指導主事の学校担当制による継続的な学校訪問による全校体制での取組の支援
- 「学力向上プラン」の改善方法等、課題に応じた研修の充実

② 指導方法の工夫改善

- 校内研修での指導助言など教員の授業力向上の支援
- 「やまぐち学習支援プログラム」の活用促進
- 学力向上推進リーダー・推進教員等の効果的な活用
- 先進校の取組や優れた授業実践事例等の情報収集・提供

③ 学習環境の整備

- 各学校の課題解決に向けた加配教員等の取組の進行管理
- 調査結果をもとにした学びを促す学習環境づくりの推進
- 幼保・小・小・中、中・高の円滑な接続に向けた各学校の取組支援

④ 学習習慣の確立

- 生活リズムの定着や家庭学習の習慣化等に向けた保護者への啓発
- コミュニティ・スクール等における学力に関する情報提供や取組の協議、地域人材による学習支援等の各学校の取組支援

県教委

① 学校の組織的な取組

- 年2回の検証改善サイクルを活用した取組の充実推進
 - ・学力分析支援ツールの活用促進によるきめ細かな分析と課題解決に向けた取組支援
 - ・調査結果から把握した成果や課題、今後の取組等についての情報提供
- 国・県研究指定校の取組支援と成果の普及
- 市町教委との合同研修会による施策や学校の取組等の共通理解と情報交換
- 学校の課題に応じ、市町教委と連携した重点的・継続的な学校訪問と取組支援
- 組織的な学力向上体制の整備促進と効果的な事例の積極的な普及

② 指導方法の工夫改善

- 「やまぐち学習支援プログラム」問題の改訂と活用促進
- キャリアステージに応じた研修機会の充実による教員の指導力向上支援
- 「学力向上支援資料」や各種指導資料を活用した日常的な授業改善の取組推進
- 学力向上推進リーダー・推進教員の配置と、効果的な取組の情報共有
- 「学力向上だより」等による調査結果の分析や学力向上に向けた取組等の情報提供

③ 学習環境の整備

- 全小・中学校の35人学級化及び学校の実情に応じた課題解決型の少人数指導の一層の充実
- 調査結果をもとにした学びを促す学習環境づくりの推進
- 幼保・小・小・中、中・高の円滑な接続に向けた学校・市町教委の取組の支援

④ 学習習慣の確立

- 「やまぐちっ子学習プリント」「みんなでチャレンジ学習プリント」の活用促進
- 学力分析支援ツール個人票による学校と家庭との情報共有の支援
- 生活リズムの定着や家庭学習の習慣化等のため、広報誌やWEBページによる保護者への啓発
- ☆ コミュニティ・スクールや地域協育ネットを活用した地域ぐるみでの学力向上の取組の促進
- ☆ 「学力向上推進フォーラム」の開催を通じた社会総がかりによる学力向上の気運醸成